

2. 令和6年度予算のポイント

一般会計予算は307億9,600万円、前年度比30億2,600万円(10.9%)増

令和6年度の龍ヶ崎市一般会計予算は、高齢化の進展、物価高の影響が続く中、先送りのできない小中一貫校をはじめとした大型建設事業に加え、新たな需要に対する助成、道路・公園の除草作業などの地域活動や市民生活に密着した事業の拡充で予算規模は拡大しました。

歳入の基幹をなす市税は、住民税の定額減税や固定資産税の評価替えの影響で減収となりましたが、定額減税の減収を補填する定額減税減収補てん特例交付金を合わせると前年度と同水準で推移しています。一般財源の総額は、地方消費税交付金等の減額等の下振れ要因を5年度算定基準に地方財政対策等を踏まえた地方交付税の増額が上回り、前年度を上回る水準を確保しました。

歳出は、給与改定や会計年度任用職員への勤勉手当支給などの制度改正に伴う人件費の増や障がい福祉サービス給付を中心とした扶助費の伸びで、義務的経費が増加しました。普通建設事業は、小中一貫校をはじめとした大型の建設事業が6年度から7年度にかけてピークを迎えます。これらの大型事業に対する市債の発行で将来負担が増加、また、特定目的基金の活用で基金残高が減少する見通しです。

収支ギャップは、光熱費の高騰を主な要因として膨らんだ令和5年度と比べ、1,000万円増の6億円と高止まりし、財政調整基金の繰入で対応しています。

特別会計は、高齢化の進展で介護保険事業及び後期高齢者医療事業特別会計の予算規模は拡大を続け、一般会計からの繰入金の増加が収支ギャップの増額要因の1つとなっています。また、発達に課題を抱える未就学児や小学生の療育の機能充実を念頭に、つぼみ園を児童発達支援センター化したことに合わせ、児童発達支援事業特別会計に会計名を変更しています。

未来創造プロジェクト～子どもの笑顔が続くまちを創る～

若者結婚新生活補助事業(新生活のスタートに最大10万円を補助)	704万円	
 若者・子育て世代賃貸住宅延長補助事業(35歳未満の子育て世帯に対する賃貸住宅契約更新補助)	356万円	
出産・子育て応援パスポート事業(妊娠時5万円・出産時5万円相当の電子クーポン支給)	4,163万円	
子育てスマイルパスポート事業(1～6歳までの子育て世帯に5千円相当の電子クーポン支給)	1,316万円	
 産後ケア事業の推進(5回目まで利用負担額を引き下げ)	323万円	
 1か月児健康診査の無償実施	219万円	
 つぼみ園児童発達支援センター化(公認心理師・保育士の常勤配置・未就学児無償化)	6,124万円	
 適応指導教室体制推進事業(適応指導教室運営員の配置)	203万円	
 地域部活動推進事業(部活動地域移行に向けたモデル事業)	671万円	◎
長山中学校区小中一貫校施設整備事業※3か年継続事業(総額43億2,703万円)	17億1,004万円	◆
 大宮小学校・龍ヶ崎小学校統合整備事業(令和7年度4月統合)	4,147万円	

魅力創造プロジェクト～もっと魅力が感じられるまちを創る～

森林公園リニューアル(夏頃一部施設プレオープン予定)	6億7,194万円	◎
※2か年継続事業(総額6億7,701万円)		◆
 都市公園の快適性向上(龍ヶ岡公園・北竜台公園・牛久沼水辺公園の除草作業の拡充)	3,274万円	
 オリピック応援事業(本市ゆかりのオリピック出場選手を応援)	284万円	
 地域活性化起業人の活用(民間人材による地域ブランディング支援)	330万円	

幸せ創造プロジェクト～日常を豊かに、快適に過ごせるまちを創る～

新保健福祉施設建設事業(ZEB化により脱炭素化を推進)	8億7,819万円	◆
※2か年継続事業(総額14億3,590万円)		
 高齢者補聴器購入補助制度(補聴器購入費1人あたり最大3万円補助)	301万円	
 若柴長山前南部地区地区計画策定事業(幹線道路沿道の土地利用促進)	382万円	

義務的経費の増、大型建設事業の本格化で予算規模が拡大

会計別予算の状況		令和6年度	令和5年度	比較	増減率
一般会計		307億9,600万円	277億7,000万円	30億2,600万円	10.9%
特別会計	国民健康保険事業	71億7,400万円	75億9,800万円	△4億2,400万円	△5.6%
	介護保険事業	64億800万円	59億7,000万円	4億3,800万円	7.3%
	児童発達支援事業	1億250万円	8,800万円	1,450万円	16.5%
	後期高齢者医療事業	20億3,300万円	19億8,500万円	4,800万円	2.4%
	特別会計合計	157億1,750万円	156億4,100万円	7,650万円	0.5%
総計		465億1,350万円	434億1,100万円	31億250万円	7.1%
下水道事業会計		37億9,900万円	37億2,320万円	7,580万円	2.0%

 **新規**  **拡充**

防災・減災対策の推進

 避難所環境改善事業(龍ヶ崎中学校柔剣道場に空調機を設置)	8,109万円	◆
 防災備蓄施設改修事業(旧学校給食センター第一調理場を改修)	2,000万円	◎
 水防対策備品の購入(水のう・止水板等)	771万円	

その他の主な事業

 要支援者移送事業(社会福祉協議会と連携した移動制約者への移送サービスの提供)	332万円	
 災害時一時宿泊費助成事業(罹災後一時避難宿泊費補助)	20万円	
 带状疱疹ワクチン接種補助制度(ワクチン接種費用に対する補助)	1,986万円	◆
 HPVワクチン任意接種補助制度(ワクチン接種費用に対する補助)	89万円	◆
 ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス導入促進事業(住宅の脱炭素化を促進)	201万円	
 スマート農業支援事業(スマート農業技術の導入促進)	500万円	◎
 多文化共生社会構築事業(多言語生活情報サービスの作成)	159万円	

市制施行70周年記念事業

 プレミアム付き商品券発行(プレミアム率20%)	5,000万円	◎
全国コロケフェスティバルの開催	346万円	

公共施設再編成の取組・インフラの新設等

新長戸コミュニティセンター建設事業(ZEB化により脱炭素化を推進)	1億8,797万円	
※2か年継続事業(総額4億7,248万円)		
市道第1-380号線(佐貫3号線)整備事業(R5補正前倒し1億7,940万円)	1億8,634万円	
 幹線道路除草作業の拡充(除草作業回数・路線の拡充)	1,000万円	
 通学路安全対策事業(グリーンベルト等設置)	1,500万円	
 ごみ処理広域化推進事業(廃棄物の広域的な処理・廃棄物処理施設の集約化等調査・検討)	220万円	

◎は「みらい育成基金」を充当している事業です。「みらい育成基金」は、ふるさと納税の寄附金を積立てた基金で、「未来を担う子どもたちのための事業」「健康で安心な環境を育てるための事業」などに使われます。

◆は、次頁以降、事業の内容と財源の内訳について、ご紹介します。